

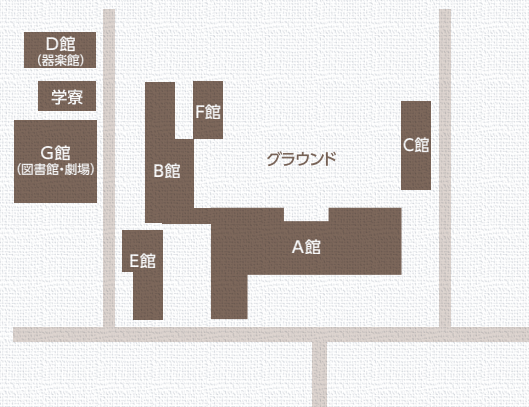


キャンパスの  
変遷

# 1969→2007

昭和音楽短期大学 (1969～/1984に校名改称)  
昭和音楽大学 (1984～)  
昭和音楽大学大学院 (1998～)

旧・厚木キャンパス



**Data** 神奈川県厚木市関口  
小田急線・本厚木駅より神奈川中央交通バスで約20分、  
昭和音楽大学前下車  
2003年より本厚木駅と大学間直行のスクールバスを運行  
○A館(1号館)を竣工・開学ののち、1971年から2001年までに  
学生寮、B館(2号館)、C館、D館(器楽館)、E館、F館、G館を建設。  
施設を拡充して幅広い学科に対応する学修環境を整備していった。  
キャンパス移転後、跡地は病院施設ほかとなっている。



○B館5・6階 Bホール(700名収容) 2002年、メサイア公演の練習風景より。指揮：星出豊教授



○A館エントランスのシャンデリア



○G館1～3階 テアトロ・ピッコロ・モリヤ(220席)  
設計原案を作成し、完成を見ずに逝去された守屋秀夫第4代学長の名前を冠した劇場。



○校章があしらわれた入口ドア



○A館2階 貴賓室 セルジョ・ベルティカローリ(2011～  
2019年度客員教授)のピアノレッスンより。



○A館1階 学生食堂



○A館4階 第1スタジオ  
声楽学科、身体表現法の授業風景(雑刀)。



○E館(研究棟) 学寮を改築し、  
各教員の研究室が置かれた。



○D館(器楽館) オーケストラや吹奏楽の練習を行う第2ス  
タジオや、楽器室、レッスン室などがあつた。



○F館2・3階 Fホール(200席)  
室内楽のコンサートや公開講座が行われていた。



○東成学寮  
女子専用で、1部屋4名、計96名の入室が可能。